

○市民協働・環境啓発

- 再生可能エネルギー普及における市民の関わり方
- 環境を切り口としたコミュニティの活性化
- 各主体が連携して環境問題へ取り組む方法
- （仮称）エコプラザ・環境啓発の必要性
- 環境啓発事業のあり方

○エネルギー

- 世界規模のエネルギーの動向
シェールガス、原油価格・・・
- 国内規模のエネルギーの動向
原発再稼働、水素エネルギー、再生可能エネルギー、電力自由化、ガス自由化・・・
- 再生可能エネルギーの普及の本市の取り組み
- エネルギーの地産地消
- 水素社会
- 住宅向けのエネルギー関連技術の普及、エネルギー技術の進歩
- ヒートアイランド対策
- スマートコミュニティ、スマートシティ
- 省エネルギー・創エネルギー設備の普及
- 市内施設（公共に限らず）の老朽化に伴う更新時の再生可能エネルギー利用

○廃棄物（ごみ）

- ごみの減量、チャレンジ600グラム
- 多摩で市民一人あたりのごみの排出量ワースト5
- ごみ処理にかかる費用（約30億円）
- クリーンセンターの建て替え
- リサイクルの方法・集団回収（行政サービスとして取り組むべきか）
- ごみの広域処理
- 最終処分場の問題

○緑・水

- 緑の市民憲章（S48年）
- 緑のネットワーク
- 緑の質、緑がまちの財産
- 緑と都市の快適性・景観の関係
- 市内の生物の状況（定期的な調査やモニタリングのあり方）

- 武蔵野市の生物多様性
- 生き物空間
- 水の循環
- 地下水利用（水道水等）
- 都市災害（ゲリラ豪雨）
- 本市の下水処理
- 身近な水辺空間
- おいしい飲料水の提供

○まちづくり

- 本市の景観
- オープンスペースと環境の関係
- 環境に配慮した土地利用
- まちづくりにおける農地の保護
- 自転車の利用促進（マナーアップも含む）
- 公共交通機関の利用促進と環境負荷軽減の推進
- 低公害車の利用促進
- 交通体系の整備
- 輸送に伴うエネルギー、環境負荷
- 安全・安心して暮らせるまちづくり（住宅の耐震対策等）
- まちの美化（禁煙化・一斉清掃）
- 計画的な都市開発における市民参加

○生活環境の保全・安心安全な環境

- 典型7公害への対応
- PM2.5、放射線などの環境汚染への対応
- 富士山の視認回数が向上、成蹊学園から年130回以上確認、大気汚染、空気乾燥等が要因
- 公害に対応する自己責任
- 新たな問題への柔軟な対応（空き家・感染症・病害虫 等）